



大宮盆栽村100周年

大宮盆栽村は、大正 12 年に起きた関東大震災をきっかけとして、東京の盆栽業者たちが自ら土地を切り開いて開村した歴史があり、今年で 100 年目を迎えました。いまや世界中から多くの盆栽愛好家が訪れ、BONSAI の聖地として親しまれています。

春野図書館では、100 年目を記念して、関連本を集めました。その一部を紹介します。



大宮盆栽村100周年

The Omiya Bonsai Village 100th Anniversary 

『大宮盆栽村の誕生－100年のあゆみ－』（さいたま市大宮盆栽美術館 2021年）

国内外から多くの盆栽愛好家が訪れる大宮盆栽村の成り立ちと発展の歴史をひもとく。

『大宮盆栽村クロニクル』（宮田一也／著 アーカイブス出版 2008年）

東京の神明町界隈の盆栽業者たちは、関東大震災を機に、土、水、空気がよい理想郷作りを求めて、千葉や神奈川を見て回り始めた。が、なかなか見つからず、北足立郡大砂土村大字土呂へ。

盆栽村黎明期の波乱万丈のドラマを解き明かす。

『＜盆栽＞の物語－古代から現代まで盆栽のたどった歴史－増補改訂版』（さいたま市大宮盆栽美術館 2017年）

「盆栽」は200年ほど前に誕生した、比較的新しいことばだが、絵巻物や屏風絵、版画など様々な絵に「盆栽」の姿を見ることができる。本書はそれぞれの時代の人々が紡いできた「盆栽」を、絵巻物や版画等を見ていく。



『山田登美男一盆栽、美の探求 開館10周年記念春季特別展一』

(さいたま市大宮盆栽美術館 2020年)

『海を越えた盆栽家吉村酉二ーニューヨーク、1958 開館10周年・姉妹館
提携記念秋季特別展一』(さいたま市大宮盆栽美術館 2019年)

『木村正彦あそびの領分 ー平成30年度秋季特別展一』(さいたま市大宮盆栽
美術館 2018年)

盆栽技術のスペシャリストとして数多くの受賞樹を手掛け、世界を代表する盆栽家木村正彦の個展図録。

『群境介のミニ盆栽クロマツ ーカラー図解一』(群 境介／著 農山漁村文化協
会 2018年)

クロマツの種子をまいたら発芽した。が、クロマツらしくない。しばらくしたら針葉がでてきたが、まだクロマツらしくない。十数年を経てようやくクロマツの幹肌を見せはじめている。いろいろな作業と、著者が育てた樹たちの生長の記録をイラストで紹介する。

『カジュアルに楽しむ手のひら盆栽ーキッチンやリビング、デスクワークのお
ともにー』(ビリ／著 ブティック社 2021年)

『盆栽・伝統園芸植物の鑑賞知識 ー銘品、器、伝統と歴史、見方のルールを知
る一』(盆栽・伝統園芸植物の鑑賞知識製作委員会／編 誠文堂新光社 2017
年)

盆栽の歴史や、伝統園芸植物ごとの特徴について解説し、鑑賞のポイントを紹介する。



『つくる・育てる・飾る!超ミニ盆栽 ー初心者でも簡単!小さくてかわいい盆栽のおしゃれな楽しみ方ー改訂版』(岩井 輝紀/著 ブティック社 2017年)

ふつうの盆栽は完成までに何年もかかるけれど、超ミニ盆栽は簡単にできて場所をとらないので、忙しい人にもおすすめ。気軽に始めてみませんか。

さいたま市大宮盆栽美術館の季節の展示やイベントの確認はこちらからどうぞ



このリストに掲載している図書は春野図書館で所蔵しています。

貸出や予約ができます。タイトル「盆栽」

所蔵館 「春野図書館」で検索⇒



さいたま市図書館ホームページはこちらからどうぞ



さいたま市立春野図書館 見沼区春野2-12-2

TEL: 048 (687) 8301 FAX: 048 (687) 8306



令和7年7月発行

編集・発行: さいたま市立春野図書館